



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

上場取引所 東

コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤間 和敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 瀧井 創 TEL 03-3538-2943

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイトに動画掲載)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	39,480	8.7	2,062	△13.8	2,109	△10.7	1,361	△12.8
2022年3月期第3四半期	36,316	5.4	2,393	1.9	2,363	1.9	1,561	13.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,373百万円 (△12.4%) 2022年3月期第3四半期 1,567百万円 (13.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	54.58	54.04
2022年3月期第3四半期	62.52	61.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	29,294	14,297	48.5
2022年3月期	27,491	13,655	49.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 14,217百万円 2022年3月期 13,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	-	-	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,450	7.3	2,570	△10.3	2,600	△7.7	1,670	△9.1	67.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

当社は、2022年7月29日付で17,534株の譲渡制限付株式の発行を行っております。また、2022年11月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を300,000株取得しております。2023年3月期の連結業績予測における「1株当たりの当期純利益」については、当該株式発行及び自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	24,998,733株	2022年3月期	24,981,199株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	300,168株	2022年3月期	168株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	24,940,796株	2022年3月期3Q	24,974,361株

(注) 自己株式は、2022年11月15日開催の取締役会決議に基づき、2022年11月16日付で300,000株増加しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が続くなか、各種政策の効果や行動制限の緩和などにより、緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、資源・原材料価格の上昇や物価高、金融資本市場の変動等による影響を注視する必要があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境は、超高齢社会を背景に介護サービスに対する需要の増加が予想されている一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保は厳しさを増しており、重要な経営課題となっております。新型コロナウイルス感染症に対しては、爆発的な勢いで感染拡大した夏場の第7波に加え、亡くなる人の数が過去最多水準となっている第8波の影響を色濃く受ける形となり、予断を許さない状況は続いております。

感染拡大が長期化している状況下において、当社グループでは、感染症の波による影響は不可避であることを前提とした上で、将来を見据えた積極的な投資姿勢を継続してまいりました。これまで展開していなかった岡山県での事業化のために「セントケア岡山株式会社」を設立し出店したのをはじめ、当第3四半期連結会計期間における新規出店数は11ヶ所（累計期間計28ヶ所）となっております。また、在宅領域におけるICT機器導入・エビデンスに基づく訪問介護、訪問看護サービスの展開を目的とする「セントケアDX株式会社」を設立し事業を開始しております。

業績につきましては、売上高では出店効果や2021年11月に連結子会社となった株式会社福祉の里が当期業績に加わったこともあり、売上高は394億80百万円（前年同期比8.7%増）と伸長しました。感染拡大の影響は大きく、当社グループのお客様や従業員においても国内の感染動向と同様に罹患者・濃厚接触者数が増加しました。利用控えや休廃止等による減客は避けられないなかでも営業を強化したことが奏功し、サービス全般で新規のお客様獲得は進んでおり、訪問系サービスを中心に増客傾向は維持できております。

その一方で、費用面では、従業員に対しての特別勤務手当や休業補償、見舞金の支給などは継続して実施しており、これらが想定を上回って推移したことや積極出店を進めたことで人件費が増加しました。この他、衛生用品の購入による経費増や水道光熱費の上昇などが利益を押し下げる主たる要因となりました。

この結果、営業利益は20億62百万円（同13.8%減）、経常利益は21億9百万円（同10.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は13億61百万円（同12.8%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

訪問系サービスでは、主に訪問介護や訪問入浴、居宅介護支援において株式会社福祉の里が業績に寄与しました。訪問看護では前期に開設した拠点が収益貢献したものの、当第3四半期連結累計期間に14ヶ所と積極的に新規開設を進めたことで費用が増加しました。また、既存拠点を中心に看護師の確保が進んだものの、人員配置に対して集客面で想定より伸び悩んだことにより減益となりました。

施設系サービスでは、看護小規模多機能型居宅介護において当第3四半期連結累計期間までに期初計画の6ヶ所全ての開設を行っており、順調に規模拡大を進めております。また、前期8ヶ所の開設拠点の貢献と既存拠点の改善が進んだことで増収増益となっております。ショートステイやデイサービスにおいては、新型コロナウイルス感染症での休止等による稼働の低下に対して、人件費や光熱費などが増加したことで減益となりました。

これらの結果、売上高は387億90百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は14億55百万円（同21.0%減）となりました。

なお、当社グループが推し進めております「コミュニティNo.1拠点」については、当第3四半期連結累計期間において12エリアで開始しており、累計で活動中のエリアは28ヶ所となっております。

・その他

その他においては、セントワークス株式会社における労働者派遣事業及び介護保険ASPシステムの販売事業で顧客が減少しました。その結果、売上高は10億10百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は30百万円（同49.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より18億2百万円（前期末比6.6%）増加し、292億94百万円となりました。

流動資産は、前期末より18億円（同12.7%）増加し、159億26百万円となりました。これは主に流動資産「その他」に含まれております未収入金が3億78百万円減少した一方で、現金及び預金が12億22百万円、売掛金が9億31百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前期末より2百万円（同0.0%）増加し、133億68百万円となりました。これは主に投資その他の資産が2億15百万円、無形固定資産が1億20百万円減少した一方で、有形固定資産が3億38百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前期末より1億76百万円（同2.5%）増加し、72億60百万円となりました。これは主に賞与引当金が7億86百万円、未払法人税等が3億30百万円減少した一方で、未払金が6億36百万円、流動負債「その他」に含まれております預り金が3億76百万円、1年内返済予定の長期借入金が3億72百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前期末より9億83百万円（同14.6%）増加し、77億35百万円となりました。これは主にリース債務が1億37百万円減少した一方で、長期借入金が10億50百万円、退職給付に係る負債が1億19百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前期末より6億42百万円（同4.7%）増加し、142億97百万円となりました。これは主に自己株式の取得により2億46百万円減少した一方で、利益剰余金が8億61百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想につきましては、2022年5月16日に発表いたしました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年2月8日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,605,957	6,828,334
売掛金	7,383,324	8,315,298
棚卸資産	137,343	124,753
その他	1,019,876	672,402
貸倒引当金	△20,927	△14,742
流動資産合計	14,125,574	15,926,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,245,088	4,683,646
リース資産(純額)	2,794,442	2,649,110
その他(純額)	1,533,701	1,578,741
有形固定資産合計	8,573,232	8,911,498
無形固定資産		
のれん	450,840	393,179
リース資産	8,259	5,162
その他	374,837	315,194
無形固定資産合計	833,937	713,536
投資その他の資産		
差入保証金	2,136,378	2,130,368
その他	1,822,368	1,612,919
投資その他の資産合計	3,958,746	3,743,288
固定資産合計	13,365,917	13,368,322
資産合計	27,491,492	29,294,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	524,297	525,943
1年内返済予定の長期借入金	767,531	1,139,978
リース債務	186,885	184,235
未払金	3,016,538	3,653,480
未払法人税等	472,549	142,230
賞与引当金	1,384,705	598,548
その他	731,886	1,016,037
流動負債合計	7,084,394	7,260,454
固定負債		
長期借入金	1,510,362	2,560,924
リース債務	3,141,914	3,004,178
退職給付に係る負債	1,742,591	1,861,833
資産除去債務	138,332	147,871
その他	218,752	161,106
固定負債合計	6,751,953	7,735,914
負債合計	13,836,347	14,996,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,764,646	1,772,405
資本剰余金	1,720,546	1,728,305
利益剰余金	10,175,710	11,037,369
自己株式	△92	△246,392
株主資本合計	13,660,811	14,291,687
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△86,251	△74,272
その他の包括利益累計額合計	△86,251	△74,272
新株予約権	80,584	80,584
純資産合計	13,655,144	14,297,999
負債純資産合計	27,491,492	29,294,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	36,316,129	39,480,084
売上原価	31,189,830	34,500,605
売上総利益	5,126,299	4,979,478
販売費及び一般管理費	2,732,944	2,917,429
営業利益	2,393,354	2,062,049
営業外収益		
受取利息	3,746	3,355
受取配当金	1,673	3,010
受取保険金	9,957	5,505
受取家賃	28,708	32,187
補助金収入	27,048	58,976
助成金収入	13,775	15,014
その他	28,081	67,616
営業外収益合計	112,990	185,666
営業外費用		
支払利息	106,230	100,088
持分法による投資損失	24,478	28,065
その他	12,563	10,131
営業外費用合計	143,272	138,285
経常利益	2,363,073	2,109,429
特別利益		
固定資産売却益	36	82
補助金収入	3,139	2,110
投資有価証券売却益	1,568	—
特別利益合計	4,744	2,192
特別損失		
固定資産除却損	462	737
固定資産圧縮損	2,149	2,025
減損損失	3,192	1,140
特別損失合計	5,804	3,904
税金等調整前四半期純利益	2,362,013	2,107,718
法人税等	800,625	746,439
四半期純利益	1,561,388	1,361,278
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,561,388	1,361,278

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,561,388	1,361,278
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	6,345	11,979
その他の包括利益合計	6,345	11,979
四半期包括利益	1,567,733	1,373,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,567,733	1,373,257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間より、セントケアDX株式会社及びセントケア岡山株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。